

請 願 文 書 表

<p>請願第10号 安定ヨウ素剤の全市民への配布を求める請願 (平成31年2月19日受理)</p>	<p>厚生委員会付託</p>
<p>請 願 者 八王子市八幡町5-11 八中ビル2階 八王子市民放射能測定室(ハカルワカル広場) 共同代表 ○○ ○○ 外583名</p>	
<p>紹介議員 佐藤 梓 前田佳子 青柳有希子 鈴木勇次 陣内泰子</p>	
<p>請願趣旨</p> <p>2011年3月11日、東日本大震災を受けて東京電力福島第一原子力発電所の過酷事故が発生し、深刻な被害が出ました。放射性物質が環境中にばらまかれ、福島のみならず、関東地方にまで及んでいます。ここ八王子も土壌が約100~200ベクレル/kgの範囲で汚染され、事故後8年が経過してもその影響は残り続けています。(この件については八王子市民放射能測定室(ハカルワカル広場)で、八王子市の土壌を測定し続けています。)</p> <p>これだけの重大事故にもかかわらず、政府は原発推進策を続けています。現在全国で9基が稼働中であり、設置変更許可が出されているのが6基、審査中が12基あります。(2019年2月17日現在、資源エネルギー庁HPより)</p> <p>八王子から最も近い東海第二原発は40年の耐用年数が60年に延長許可されました。現在再稼働に向け、周辺自治体と交渉中と聞きます。政府の原発推進政策が変更されない限り、私たちはあの福島事故の再発を覚悟せざるを得ません。そのためには自衛の一手段として、「安定ヨウ素剤の全市民への配布」を要望します。安定ヨウ素剤は甲状腺がんを予防するものです。(特に子どもの甲状腺は放射能を取り込みやすいのです。)チェルノブイリ事故の後、ヨーロッパではヨウ素剤を全国民に配布することが行われています。安定ヨウ素剤は副作用の少ない薬剤で、欧米では薬局でサプリメントのように購入できます。</p> <p>安定ヨウ素剤を求める市民の声は大きく、私たちは昨年11月10日にヨウ素剤の自主配布会を行いました。また、都内では昨年4月に武蔵野市、11月に江東区でも自主配布会が行われています。</p> <p>請願事項</p> <p>1. 八王子市において、全市民に安定ヨウ素剤を配布してください。</p>	